

明保小 夏の思い出

７月１８日から始まった夏休み。今年は、４０日間のお休みでした。みなさん、ひとりひとりが、それぞれに　楽しい思い出を作ったことでしょう。　今回は、夏休み中に、校長先生が関わった、明保小や地域の出来事を、ふり返ってみました。



７月18日（土）

アジサイ
せんてい

あじさい剪定は、８月１８日に行いました。地域や保護者の方が参加してくれました。
明保小の皆さんの中にも、参加してくれた人がいて、校長先生はとても　うれしかったです。



あじさいが　来年も　きれいに咲くことができるように、新しい芽を残して、枝を切りました。



あじさいの剪定後、みんなで写真をとりました。参加してくれた地域や保護者のみなさんと、明保小の子供たちに感謝しています。



7月19日（日）

大谷
フェスティバル

明保小は、昔、城山南小という学校名でした。それなので、今でも城山地区とは深い結びつきがあります。城山地区にある大谷は、大谷石の産地です。そこで、お祭がありました。





たくさんのお店が出ていて、買い物を楽しむ人で、にぎわっていました。明保小の皆さんの中にも、参加した人がいると思います。



7月21日（火）

先生の
けんしゅう会

皆さんの夏休み中、先生たちは、研修会を開いて、勉強の教え方や　子どもとの接し方について、力を高めました。



皆さんと同じように、話し合いを通して　自分の考えを　交換し合いました。先生方も、よい授業やよいクラス作りができるよう頑張っています。



7月25日（土）

明保ちいき

夏まつり

７月２５日は、明保地域の夏祭りがありました。人気キャラクターの　おみこしが　登場しました。　みんなで　楽しく　かつぎました。



いろいろなお店でのゲーム、 かき氷 、 フランクフルト が 大人気でした。 一人で 5 杯のかき氷を食べている人もいました。



お姉さんの上手な歌にあわせて、盆踊りもしました。





８月2日（日）

宮祭り

明保ぼんてん

８月２日の、ふるさと宮祭りには、 明保地区の梵天が 登場しました。梵天とは、竹を二本つないた、神様に奉納する道具です。 明保小の子供たちも おそろいの はっぴを着て梵天を運びました。わっしょい，わっしょい」とかけ声をかけながら、二荒山神社の階段をかけ上がりました。



8月11日（火）

台風１５号

８月１１日に上陸した台風１５号で、明保小の体育館の西側の 桜の木が 倒れました。





体育館の窓わくに、桜の木が倒れかかりましたが、ガラスは割れませんでした。ニュースでは、宇都宮駅前の大きな木が倒れたことが、伝えられていました。

。



いよいよ
学校の
はじまりです

いよいよ　学校の　始まりです。夏休みに体験したことや、学んだことを、これからの生活に生かせるといいですね。



まず　始めは　早寝　早起き　朝ごはん。　生活のリズムを取り戻して、元気に毎日を送れるようにしましょう。
これで、校長先生のお話しは　終わりです。